

公共事業再評価事業別調書

担当所属	農林水産部	農村整備課
再評価実施要件	未着工	長期継続(農林水産省5年)
	その他( )	

1 事業の概要

事業種別	農業農村整備事業	事業主体	県	市町村	その他( )			
事業名	県営畑地帯総合整備事業	地区名等	森越地区					
事業区分	補助事業等 単独事業	負担区分	国50% : 県30% : 市町村20% : その他 %					
採択年度	9年度(用地着手) 10年度、工事着手 10年度)							
終了予定	15年度(年) 月計画変更<計画時 13年度>							
事業目的	農産物の品質向上及び観光農業も視野に入れた農業経営の安定を図るため、営農に支障をきたしている農道や排水路を整備する。							
主要内容	農道 L=8,549m(16路線) 排水路 L=1,812m(3路線)							
事業費	採択時総事業費 1,150百万円 単位:百万円							
		~H11年	H12年	H13年	H14年	小計	H15年~	合計
計画 (うち用地費) <年月変更>	610	300	240		1,150		1,150	
	(101)	(50)	(50)	( )	(201)	( )	(201)	( )
実績 (うち用地費)	544	150	200	200	1,094	117	1,211	
	(153)	(67)	(47)	(4)	(271)	(0)	(271)	
その他	計画時点の同意率 農道93.8% 農排100%							

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

AA・A・B・C

事業の進捗状況	単位: %		
		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
	事業費割合 (うち用地費)	90.30% (100.0%)	95.10% (134.8%)
	工種毎割合 (主要工種)	農道(L=8,549m)	87.7%
	排水路(L=1,812m)	64.1%	100.00%
説明	埋蔵文化財の調査により工事に若干の遅れはあるが、ほぼ計画どおり進捗しており特に問題は生じていない。		
問題点・解決見込	平成10年度に埋蔵文化財にかかる試掘調査を実施したが、遺物は発見されなかったことから、その後工事を計画どおり実施している。		
事業効果発現状況	工事が完了した路線から供用を開始しており、所期の事業効果を十分に発現している。		

(2) 社会経済情勢の変化

AA・A・B・C

社会的評価	全国: 農業を取り巻く状況が厳しい中で、農業経営の合理化を図るため生産基盤の総合的な整備が必要となっている。 県内: りんご園地の若返りのため「りんご園地若返り推進本部」を設置し積極的な園地整備を進めている。 地域(関係市町村、受益者等): 名川町は近年、グリーンツーリズム運動を推進し、観光農業を町おこしの大きな柱に位置付けている。		
予算動向	国: H14/H9=148% 近年、事業に対する必要性が高まっており、国、県とも事業費は伸びている。 県: H14/H9=147%		
必要性等	計画時	再評価時	左の説明
必要性 緊急性	農業情勢が厳しい中で、農産物の品質向上及び経営安定を図るため、生産に支障をきたしている農道及び排水路の生産基盤を緊急に整備する必要がある。	名川町ではグリーンツーリズム運動を推進し、観光農業を町おこしの大きな柱に位置付けていることから、農産物の生産に支障をきたしている農道及び排水路の生産基盤を緊急に整備する必要性は高まっている。	本年12月の東北新幹線八戸駅開業を契機に、農業資源を活用した観光を推進する「名川町農業観光振興会」が5月1日に発足しており、町特産の果樹を生かし、通年で楽しめる体験型の観光農業を目指していることから、本事業の早期完成が求められている。
その他			



(3) 費用対効果分析の要因変化

AA・A・B・C

費用対効果分析		計 画 時	再 評 価 時	増 減
	費用 ( C )	1,213百万円	1,272百万円	59百万円
	効果 ( B )	1,251百万円	1,312百万円	61百万円
	B / C	1.03	1.03	
変化内容	費用：労務資材費・測量試験費の減、用地補償費の増、工法変更による増 効果：作物単価・作物単収の減、労務単価の増、更新効果の増			
B/Cへの影響	事業費が工法変更及び補償費等の変更により増となったが、更新効果などの増によりB / Cへの影響はない。			

(4) コスト縮減・代替案立案の可能性

コスト縮減の可能性	なし
代替案の可能性	なし

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

住民ニーズ把握状況	事業の実施に当たっては、事業促進協議会・受益者への説明会を行うとともに、路線選定についても地元の意見を反映している。
環境影響への配慮	生態系の保全のため、地区内に存在する小規模なため池等を可能な限り現況のまま残していく工法・路線選定を行っている。
地域特性	観光農園・りんごのオーナー制の導入を希望する受益者が多いことから、園地内の道路及び排水路の整備は必要である。

3 対応方針（事業実施主体案）

総合評価	継続 見直し継続 中止 休止 （農林水産省所管事業に限る）
評価理由	本事業は、地域農業等に果たす役割と地元の期待が非常に大きいことから、地元要望を踏まえ平成15年度の完成に向け継続して実施する。
備考	

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針（案）どおり	対応方針（案）を修正すべき
委員会評価	継続 見直し継続 中止 休止 （農林水産省所管事業に限る）	
評価理由		
附帯意見		